

独立行政法人中小企業基盤整備機構平成22年度第1回契約監視委員会

【議事要旨】

平成23年2月
独立行政法人中小企業基盤整備機構

1. 日 時 平成22年11月24日(水) 15:00~17:00
2. 場 所 独立行政法人中小企業基盤整備機構 役員第一会議室
3. 出席者 (委員) 井上委員長、吉野委員、渡邊委員、高橋委員、増田委員
(機構) 草桶理事、村上理事、他

4. 議 事

○議事に先立ち、村上理事から開会挨拶が行われた。

(1) 21年度及び22年度上期(4月~8月)契約の概況について

- ・事務局から、公共工事の状況及び随意契約等見直し計画に基づく改善状況を含め、21年度及び22年度の契約の概況について説明がなされ、委員会から以下の意見が付された。

『随意契約等見直し計画に反映されている入札不参加者に対するアンケート調査の実施に当たっては、一者応札・応募の改善に資するよう、対象範囲や内容等の見直しを検討されたい。また、一者応札・応募となった原因分析を行うとともに、独法全体の状況を踏まえ、ITの利用も含めた入札情報の広範な周知等、有効な施策を検討されたい。』

(2) 個別案件の抽出決定と点検について

- ・21年度及び22年度上期(4月~8月)の契約案件において、一者応札・一者応募となったものについて焦点を当て、各委員から抽出された個別案件を具体的審議の対象とする決定がなされた。
※案件毎の審議概要は、(別紙)を参照。

(3) 次回日程について

- ・事務局から次回委員会の日程等について説明し、了承された。

— 以上 —

(別紙)

○平成21年度に締結された一者応札・応募となった契約

【工業用水道事業に係る施設運転管理業務】	
主な意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none">・総合評価落札方式における技術評価にあたっては、評価方法の厳格な運用を図るとともに、外部評価者を登用し、透明性の向上に努められたい。	<ul style="list-style-type: none">・本審議案件における22年度の調達にあたっては、随意契約等見直し計画に基づき一般競争入札方式に改め、複数年契約とすることにより、一者応札・一者応募は改善された。他の案件の調達においてもご指摘の趣旨を踏まえ、透明性の向上を図っていく。

【共済業務に係るCRM構想及び導入実施計画策定支援業務】	
主な意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none">・業務内容の特性上、本審議案件は22年度に調達された関連業務と一体不可分であり、一括契約とすべきであったのではないか。	—

※委員から、CRM計画の管理を支援する業務についても説明を求めたいとの提案があり、次回の委員会までに各委員の意見を集約することを委員会として決定した。

【共済制度の数理業務に係るアドバイザー業務】	
主な意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none">・入札参加条件における年金受託業務の実績要件については、信託業法に基づく者が対象となり参加が制限される。年金数理の専門家といった資格要件のみに限定すれば、個人の者でも参加が可能であったのではないか。・総合評価落札方式における技術評価にあたっては、外部評価者を登用し、透明性の向上に努められたい。	<ul style="list-style-type: none">・実績要件を満たす者は多数存在しているため、過度な制限になっているとは考えていない。また、業務内容を考慮すると組織としての対応が可能な者が望ましいため、実績と資格を要件とした。今後、見直しを検討していく。

○平成22年度に締結された一者応札・応募となった契約

【共済業務の電算システムに係る機能追加業務】	
主な意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none">・本審議案件については、業務内容の特性上、当初のシステムを開発した者が保有する特許権等の利用といった点からも、総合評価落札方式のような競争に付す方法には適さない調達であったのではないかとと思われる。	—